

第8期 第4回千代田区一般廃棄物減量等推進審議会 議事要旨

日時:令和6年6月10日(月)15:00~17:06

場所:千代田区役所4階 教育委員会室

1 開会

2 議題

事業系ごみの削減について

3 その他

【配付資料】

資料1 検討テーマ「事業系ごみの削減」検討事項一覧

井手7 食品ロスによる経済損失及び温室効果ガス排出量の推計結果

(食品ロスによる経済損失及び温室効果ガス排出量に関する調査業務調査報告書から)

松田2 食品ロス削減目標達成に向けた施策パッケージ(案)

松田3 (参考資料)産・官・学連携で推進する食品ロス削減の取り組みが環境省の

「mottECO(モッテコ)導入モデル事業」に採択

崎田2 京都市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例

(しまつのこころ条例)の概要

資料2 第8期(第1回~第3回)千代田区一般廃棄物減量等推進審議会での意見要約(検討テーマ別)

参考資料 第2回審議会の議事録概要

第3回審議会の議事録概要

要約

1.開会の挨拶

柳所長が開会を宣言し、崎田座長が議事を進行。

2.事業系ごみの削減について

井出委員の資料紹介:食品ロスによる経済損失及び温室効果ガス排出量の推計結果

・食品ロス削減の重要性を強調。

・経済損失は 4.3 兆円、温室効果ガスは 1138 万トン排出。

・食品ロス 1 トン削減で温室効果ガス 2.17 トン削減可能。

松田委員の資料紹介(到着後):食品ロス削減目標達成に向けた施策パッケージ(案)

・フードバンク活動や外食時の食べ残し持ち帰りの促進。

・企業の優良な取組の公表や商習慣の見直しを提案。

崎田座長の補足説明:京都市の廃棄物減量及び適正処理条例

・市民と事業者による分別義務の徹底。

・違反者に対する改善勧告や命令、公表の手続を規定。

3.議論と意見交換

●大規模事業者へのアプローチ:

委員の意見:

- ・食品ロス削減の重要性を再度強調。特に経済的損失と環境負荷の数値化が大事であることを強調。
- ・事業者が食品ロス削減に取り組むことで、経済損失を減らし、温室効果ガスの削減にも寄与することを具体的なデータで示す。
- ・自分たちがどれだけ損しているか、自覚を促すことが必要。
- ・消費者も食品ロス削減に貢献できることを周知することが重要。
- ・ごみの削減がもたらす環境負荷軽減の効果を具体的に数値化し、事業者や消費者に周知する必要がある。
- ・企業が食品ロスやごみ削減に取り組むことで得られる経済的メリットや環境負荷の低減効果を強調。
- ・行政が企業に対して具体的なデータやメリットを提供することで、協力を促進する。
- ・国の施策と連携し、食品ロス削減の取組を強化することが重要。
- ・フードバンク活動や食品寄附の促進、外食時の食べ残しの持ち帰り促進などの具体的な施策を導入。
- ・企業と消費者の意識変革を促すための教育や啓発活動の重要性を強調。

●小規模事業者へのアプローチ:

委員の意見:

- ・小規模事業者に対して、具体的なリサイクル支援策を提供することが必要。
- ・例えば、段ボールなどの紙類の分別収集を促進するための支援策を検討。
- ・小規模事業者がリサイクル活動に参加しやすい環境を整備することで、全体的なごみ削減を推進する。
- ・商店街や小規模事業者の協力を得るためには、行政が積極的に支援策を提供することが重要。
- ・リサイクルシステムの強化や分別収集の促進など、具体的な支援策を導入することで、小規模事業者の参加を促進。
- ・地域全体で協力してごみ削減に取り組むための仕組み作りが必要。

4.次回の議題

- ・リサイクルセンターの機能や来街者によるごみ発生抑制について議論予定。